

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	僧帽弁位感染性心内膜炎に対する僧帽弁形成術の中期成績
研究責任者	心臓血管外科 新垣 涼子
本研究の目的・意義	僧帽弁置換術は、僧帽弁位感染性心内膜炎における標準治療として考えられてきたが、近年僧帽弁形成術は感染性心内膜炎(IE)に対しても安全に施行でき、良好な転帰をもたらすとの報告があります。また、人工弁をいれる必要がなく、感染性心内膜炎の再発も制御できる可能性があります。 今回の研究により僧帽弁位感染性心内膜炎に対し僧帽弁形成術を施行した症例の中期成績と耐久性に関し評価することを目的としています。
研究予定期間	委員会承認後～2030年3月31月
該当資料・データ	対象となる患者さま: 心臓血管外科で僧帽弁位感染性心内膜炎に対し弁形成術をお受けになられた患者 利用する情報: 電子カルテに記載のある診療記録・検査データ、電話での予後調査のデータを利用します。
個人情報の取扱い	診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人を識別可能な情報を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、研究機関毎に連結可能匿名化を行います。個人識別情報と付加番号の対応表は研究機関毎に作成し、各機関の個人情報管理者が厳重に管理し、共同研究機関並びに解析担当者には渡しません。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話: 096-370-3111(代表) 担当者: 新垣 涼子(心臓血管外科)